

5 番	三宅 聡 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1. 瀬戸市の認知症対策について</p> <p><b>【質問趣旨】</b> 認知症の高齢者が2025年には約700万人になると想定されている現実に対して、認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができるよう、認知症施策を総合的かつ計画的に推進するための、共生社会の実現を推進する認知症基本法が昨年6月、国会で成立した。今こそ、認知症の人を含めた国民一人ひとりがその個性と能力を十分に発揮し、相互に人格と個性を尊重し、支え合いながら共生する活力ある社会(=共生社会)の実現をという目的に向かって、認知症対策を</p>	<p>(1) 認知症の普及啓発と本人発信の支援</p>	<p>① 認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族のことを気に掛け、できる範囲で手助けする、養成講座を受けられた認知症サポーターの皆さんが5000名以上いるが、実態についてどのように把握しているか伺う。</p> <p>② 認知症サポーターの方で、より認知症について詳しく学ぶ「認知症ステップアップ研修」を受講すると「オレンジサポーター」にステップアップして様々なプロジェクトに参加ができるとあるが、実際にどのような成果があるのか伺う。</p> <p>③ 認知症の方やその家族の支援ニーズと、認知症サポーターを中心とした支援者をつなぐ仕組み「チームオレンジ」が令和3年4月から始まっているが、これまでにどのようなマッチングが為されてきたのか伺う。</p> <p>④ 認知症の方やその家族が気軽に立ち寄れ、地域の人や専門家と相互に情報を共有し、お互いを理解し合う場である認知症カフェのこれまでの成果と課題について伺う。</p> <p>⑤ 市内小中学校では何時どのような形で認知症教育が為されているのか伺う。</p> <p>⑥ 認知症に対する正しい理解の普及啓発に取り組む「地域はつらつ講座」の現状と課題について伺う。</p>

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3 MS明朝体、12ポイントで記載する。

5 番	三宅 聡 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>進めて行くときである。</p> <p>私たちが目指すべき共生社会とは、誰もが認知症になる可能性がある中で、生活上の困難が生じた場合でも、重症化を予防しつつ持てる力を生かしながら、周囲や地域の理解と協力の下、本人が希望を持って地域の中で尊厳が守られ、自分らしく暮らし続けることができる社会である。一刻も早い認知症との共生社会を構築すべく、市の方策について伺うものである。</p>	<p>(2) 認知症の予防に資する取り組みについて</p> <p>(3) 医療・ケア・介護サービス・介護者への支援について</p>	<p>① 65歳以上の高齢者を対象に運動機能の向上や栄養改善、認知機能の低下予防を目的に開催されている「大人の充活！ワンコイントレーニング」の現状と課題について伺う。</p> <p>② 介護予防及び認知症予防を推進することを目的として実施されてきた通いの場事業についての現状と課題について伺う。</p> <p>① 市内の各地域包括支援センターに平成30年4月より設置されている「認知症初期集中支援チーム」について現在の状況と今後の課題について伺う。</p> <p>② 認知症の方を介護している家族など介護者に対し、お互いに相談や情報交換ができる機会を設けるなどの「認知症介護家族支援事業」についての現状と課題について伺う。</p> <p>③ 蛍光ステッカーを靴などの履物に貼る、ひとり歩き高齢者見守りサービス「お帰りサポート事業」についてサービスの利用者が増加傾向とのことであるが、その原因と今後の課題について伺う。</p> <p>④ 認知症ケアパスが搭載されている「瀬戸市 人生のほっと安心ノート」の利用状況について伺う。</p>

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3 MS明朝体、12ポイントで記載する。

5 番	三宅 聡 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(4) 認知症を地域で支える	<p>① 判断能力が十分でない方の地域生活を支えるため、成年後見制度の利用支援が不可欠である。今後、利用者も増加することが予想される中どのようなことが課題であるか伺う。</p> <p>② 医療機関や愛知県若年性認知症総合支援センター等と連携し、若年性認知症の方への支援を行っているが、その現状と課題を伺う。</p>

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3 MS明朝体、12ポイントで記載する。